

# 彙 報

東南アジア研究センター管理委員会名簿  
 東南アジア研究センター管理委員会開催日および議題  
 東南アジア研究センター常任委員会名簿  
 東南アジア研究センター常任委員会開催日および議題  
 東南アジア研究センター運営協議会開催日および議題  
 東南アジア研究センター研究担当者追加  
 東南アジア研究センター後援会規約  
 東南アジア研究センター後援会募金要項  
 東南アジア研究センター後援会役員名簿  
 東南アジア研究センター第2年度(昭和39年度)現地  
 調査計画  
 東南アジア研究センター第2年度(昭和39年度)養成  
 計画による海外留学生  
 研究例会記事  
 国外からの訪問者  
 関係者往来

## 東南アジア研究センター管理委員会名簿

(昭和39年6月20日現在)

委員長	農学部長	小林章
副委員長	人文科学研究所長	森鹿三
委員	文学部長	井上智勇
〃	教育学部長	重松俊明
〃	法学部長	中田淳一
〃	経済学部長	堀江英一
〃	理学部長	速水頌一郎
〃	医学部長	堀井五十雄
〃	薬学部教授	木村康一
〃	工学部長	藤本武助
〃	教養部長	柴田実
〃	研究センター所長	岩村忍
幹事	庶務部長	住友眩
〃	経理部長	西間木久郎

## 東南アジア研究センター管理委員会

開催日および議題

39年2月18日

東南アジア研究センターの調査研究費について

39年3月3日

1. 昭和39年度研究計画および事業計画について
2. 昭和38年度研究および事業報告について

39年3月17日

委員長の互選について

39年5月26日

1. 昭和38年度の東南アジア研究センターの決算について
2. 昭和40年度の東南アジア研究センターの概算要求について

## 東南アジア研究センター常任委員会名簿

(昭和39年6月20日現在)

所長	人文科学研究 所教授	岩村忍
常任 委員	文学部教授	泉井久之助
〃	文学部教授	織田武雄 (社会科学研究部 門主任)
〃	教育学部教授	相良惟一 (総務部副主任)
〃	法学部教授	猪木正道 (社会科学研究部 門副主任)
〃	経済学部教授	堀江保蔵 (総務部主任)
〃	理学部教授	芦田譲治
〃	医学部教授	西尾雅七
〃	薬学部教授	木村康一 (自然科学研究部 門主任)
〃	工学部教授	滝本清
〃	農学部教授	四手井綱英 (自然科学研究部 門副主任)
〃	教養部長	柴田実
幹事	文学部助教授	棚瀬襄爾
〃	農学部助教授	本岡武

## 東南アジア研究センター常任委員会

開催日および議題

39年2月11日

1. センターの研究組織等について
2. 現地調査参加学生の参加期間延長について

39年2月18日

センターの研究組織等について

- 39年2月25日  
センターの研究組織等について
- 39年3月2日  
1. 昭和39年度研究計画および事業計画について  
2. 昭和38年度研究および事業報告について
- 39年4月14日  
学外研究者の調査研究参加について
- 39年4月21日  
センターの研究組織について
- 39年5月8日  
1. 研究担当教官について  
2. 学外者の調査研究参加について  
3. 昭和39年度研究計画にもとづく現地調査派遣予定者について
- 39年5月19日  
1. 組織化について  
2. 研究担当教官について

3. 昭和38年度決算報告について
- 39年6月2日  
昭和40年度自然科学部門調査研究計画について
- 39年6月16日  
自然科学部門調査研究計画について

**東南アジア研究センター運営協議会  
開催日および議題**

- 39年3月2日  
1. 昭和39年度研究計画および事業計画について  
2. 昭和38年度研究および事業報告について  
3. 研究担当教官について
- 39年5月20日  
1. 研究担当教官について  
2. 学外者の研究参加者について  
3. 常任委員選出について  
4. 組織化について

**東南アジア研究センター研究担当者追加**

(昭和38年6月27日から昭和39年5月31日まで)

所属機関名	職名	氏名	研究内容
(学内) 京都大学	助教授	尾崎雄二郎	東南アジアにおける中国語方言の調査研究
教育学部	教授	田畑茂二郎	東南アジアにおける国際関係
法学部	〃	吉住永三郎	東南アジアにおける地下資源
工学部	助教授	谷口敬一郎	〃
〃	講師	入江恒爾	〃
結核研究所	教授	長石忠三	東南アジアにおける結核の現状調査および結核外科の指導
農学部	教授	富士岡義一	東南アジアにおける土地および水資源の現況ならびに農業開発にかんする調査研究
法学部	〃	平場安治	東南アジア諸国の比較法的研究
〃	助教授	高坂正堯	東南アジアにおける国際関係
医学部	講師	上野一也	東南アジア地域における失明原因の調査とその予防
結核研究所	助教授	前川暢夫	東南アジアにおける結核の疫学ならびに化学療法にかんする研究
工学部	教授	森山徐一郎	東南アジアにおける錫資源ならびに製錬の研究
農学部	助教授	南勲	東南アジアにおける広域水利にかんする研究
理学部	教授	芦田讓治	東南アジアにおける植物にかんする研究
法学部	〃	溜池良夫	東南アジア諸国の比較法的研究
〃	〃	磯村哲	〃
〃	〃	道田信一郎	〃
〃	助教授	上山安敏	〃
〃	〃	龍田節	〃

所属機関名	職名	氏名	研究内容
(学外)			
兵庫農科大学	教授	佐藤 孝	東南アジアにおける畑作物の栽培学的研究
京都府立大学	助教授	渡部 忠世	東南アジアにおける稲作の作物学的研究
京都府立衛生研究所	環境衛生課長	加藤 彰郎	インドネシアの環境衛生について、とくに風土病と衛生動物との関係
兵庫農科大学	教授	浜田 秀男	東南アジアの野生稲および栽培稲の生態的ならびに分類的研究
岡山大学	〃	小林 純	東南アジアの河川の化学的研究
京都女子大学	〃	藤原 利一郎	東南アジアにおける華僑発展史の研究
		山本 利雄	東南アジアにおける肺・心臓外科の現状調査および指導
龍谷大学	講師	口羽 益生	マレーシアおよびインドネシアの社会構造
東京理科大学	助教授	糸川 秀治	薬用資源調査研究・薬業事情調査研究・薬学教育調査研究
長野県保健所	技術吏員	加世田 正道	〃
神戸大学	教授	高木 太郎	東南アジアにおける教育制度の比較研究
広島大学	助手	門前 貞三	教育の発展を規定する阻止的要因と促進的要因（自然的要因、社会的要因）
		水野 浩一	東南アジアにおける村落社会の変動過程の比較研究
大阪市教育研究所	所員	山口 三郎	東南アジアの教育制度の比較研究
京都府立医科大学	研究員	正垣 幸男	東南アジアにおけるフィラリア・マラリアおよび寄生性昆虫について疫学的調査およびその対策についての研究
天理大学	教授	中村 孝志	南方華僑史の研究
東京大学	講師	築島 謙三	マライ人村落の自治体制の人倫意識

### 東南アジア研究センター後援会規約

#### 第1章 総 則

第1条 この会は、京都大学東南アジア研究センター後援会と称する。

第2条 この会は、事務所を京都大学内に置く。

#### 第2章 目的および事業

第3条 この会は、京都大学東南アジア研究センター研究計画の遂行に必要な資金を調達することを目的とする。

第4条 この会は、前条の目的達成のため募金を行なう。

#### 第3章 会 計

第5条 この会の経費は、寄附金およびそれより生ずる果実によりまかなう。

第6条 この会の収支予算ならびに決算は、理事長が作成し、理事会の承認を得なければならない。

第7条 この会で募金した寄附金は、募金のために必要とした経費を除きその都度、京都大学に寄附する

ものとする。

#### 第4章 役員および職員

第8条 この会に次の役員を置く。

理事長 1名  
理事 若干名  
監事 2名

第9条 理事長は、理事の互選で定める。

第10条 理事および監事は、理事長が委嘱する。

第11条 理事長は、この会の業務を総括し会を代表する。

2 理事長に事故あるとき、または、理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した理事がその職務を代行する。

第12条 理事は、理事長とともに理事会を組織しこの会の業務を議決し、執行する。

第13条 監事は、この会の業務および会計を監査する。

第14条 この会の役員の任期は、2年とする。

2 役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、なお、その職務を行なう。

第15条 この会の業務を処理するため、書記その他必要な職員を置く。

2 職員は、理事長が任免する。

#### 第5章 会 議

第16条 理事会は、年2回以上理事長が招集する。

ただし、理事長が必要と認めた場合、または理事定数の3分の1以上から請求のあったときは、1カ月以内に臨時理事会を招集しなければならない。

2 理事会は、理事定数の2分の1以上が出席しなければ開会することができない。

3 理事会の議事は、出席理事の過半数をもって決する。

#### 第6章 規約の変更および解散

第17条 この規約は、理事定数の2分の1以上の同意を得なければ変更することができない。

第18条 この会は、第4条の事業が終了したとき、または、理事定数の3分の2以上の同意を得たときは、解散する。

第19条 この会の解散に伴う残余財産は、京都大学に寄附するものとする。

#### 第7章 補 則

第20条 この規約施行のため必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

#### 附 則

この規約は、昭和39年3月1日から施行する。

#### 東南アジア研究センター後援会募金要項

- 1 募金目標額 10,300万円
- 2 募金期間 昭和39年3月から5カ年
- 3 寄附申込  
寄附御申込みは、別紙寄附申込書により下記あてに御願いたします。

京都市左京区吉田本町  
京都大学庶務部庶務課内  
京都大学東南アジア研究センター後援会

- 4 払込方法  
御寄附金は、同封の振込用紙を御利用のうえ、下記いずれかの銀行の京都大学東南アジア研究センター後援会名義の口座に御払込み下さるよう御願いたします。

神戸銀行 京都支店  
三和銀行 京都支店  
住友銀行 京都支店  
第一銀行 百万遍支店  
大和銀行 京都支店  
東海銀行 京都支店  
富士銀行 出町支店  
三井銀行 河原町支店  
三菱銀行 出町支店

#### 5 寄附金の免税について

御寄附金は、法人税法施行規則第8条第1項に規定する寄附金として損金に算入されます。なお、国税庁長官からの確認書(写)を添付いたします。

#### 収支予算書

1 収入の部	
寄附金収入	103,000,000円
利 子	1,000,000円
計	104,000,000円
2 支出の部	
寄 附 金	100,170,000円
募 金 経 費	3,830,000円
計	104,000,000円

#### 京都大学東南アジア研究センター後援会役員名簿

理事長	前京都大学総長	平 澤 興
理 事	京都大学総長	奥 田 東
〃	京都大学農学部 京都大学東南アジア研究 センター管理委員会委員長	小 林 章
〃	京都大学東南アジア研究 センター所長	岩 村 忍
〃	京都大学教授	泉 井 久 之 助
〃	〃	織 田 武 雄
〃	〃	相 良 惟 一
〃	〃	猪 木 正 道
〃	〃	堀 江 保 蔵
〃	〃	芦 田 譲 治
〃	〃	西 尾 雅 七
〃	〃	木 村 康 一
〃	〃	滝 本 清
〃	〃	四 手 井 綱 英
〃	〃	柴 田 実

理事 京都大学事務局長 横田 実  
 監事 " 庶務部長 住友 眩  
 " " 経理部長 西間木 久郎

吉田光邦 京都大学人文科学研究所助教授  
 口羽益生 龍谷大学文学部講師  
 坪内良博 京都大学大学院文学研究科博士  
 課程

**東南アジア研究センター第2年度  
 (昭和39年度) 現地調査計画**

I. 社会科学部門

1. ビルマ・タイ地域研究計画

1) タイ村落調査

調査参加者

飯島 茂 京都大学東南アジア研究センター助手  
 水野浩一 京都大学東南アジア研究センター研究員  
 矢野 暢 京都大学大学院法学研究科博士課程

調査項目

- (1) 北部タイの山地民社会の構造(飯島)
- (2) 東北部タイの村落社会の変動(水野)
- (3) 南部タイのマライ系タイ人村落の変化過程(矢野)

調査期間

飯島 茂 1カ年(39年4月1日~40年3月31日)  
 水野浩一 1カ年(39年5月11日~40年5月10日)  
 矢野 暢 1カ年(39年5月11日~40年5月10日)

2) タイ農業技術の改良とその農民層への滲透にかんする研究

調査参加者

本岡 武 京都大学農学部助教授

調査項目

- (1) 農業技術の実態と改良方向についての調査未了の問題
- (2) 改良技術の農民段階への滲透の問題

調査期間

約6カ月(39年10月~40年3月)

2. マレーシア・インドネシア地域研究計画

—マラヤにおけるマライ人社会の総合研究

調査参加者

棚瀬 襄爾 京都大学文学部助教授

調査項目

- (1) マライ人社会の史的背景
- (2) 経済的基盤
- (3) 家族・親族および村落の構造
- (4) マライ人社会の社会政治構造
- (5) マライ人村落と都市の関係
- (6) 世界観
- (7) マラヤにおけるマライ人社会の位置

調査期間

棚瀬 襄爾 4カ月(39年6月1日~9月30日)  
 吉田光邦 1カ月(39年6月1日~6月30日)  
 口羽益生 6カ月(39年7月5日~40年1月10日)  
 坪内良博 3カ月(39年7月5日~10月10日)

3. 東南アジア諸国における政治組織と政治過程の比較研究

調査参加者

猪木正道 京都大学法学部教授  
 福島徳寿郎 " "  
 香西 茂 " 助教授  
 清永敬次 " "  
 園部逸夫 " "

調査項目

- (1) 東南アジア諸国における政治組織と政治過程の比較研究にかんする一般的問題
- (2) 同じく国際法上の諸問題
- (3) 同じく税制上の諸問題
- (4) 同じく公法上の諸問題

調査期間

43日(39年12月15日~40年1月26日)

4. 1) 東南アジアにおける教育制度ならびに教育構造の比較研究

調査参加者

相良惟一 京都大学教育学部教授

調査項目

タイ・カンボジャ・マレーシア・インドネシアにおける教育制度と教育構造

調査期間

約4カ月(39年6月1日～9月末日)

2) Satipatthana (念処)による人格形成の研究

調査参加者

佐藤幸治 京都大学教育学部教授

調査項目

Satipatthana の禅法

調査期間

15日(39年8月16日～8月31日)

5. 北部タイにおける諸言語の調査

調査参加者

西田龍雄 京都大学文学部助教授

三谷恭之 京都大学大学院文学研究科博士課程

桂満希郎 //

(現地参加, チュラロンコーン大学留学中)

調査項目

(1) タイ語チェンマイ方言・ラフ語・アカ語・ラワ語・カレン語等北タイ諸言語の言語構造

(2) これらの諸言語にかんする比較言語学的諸問題

調査期間

6カ月(39年9月1日～40年2月28日)

6. マレーシアにおける華僑の歴史的社会的研究

調査参加者

日比野丈夫 京都大学人文科学研究所助教授

藤原利一郎 京都女子大学教授

中村孝志 天理大学教授

船越昭生 京都大学人文科学研究所助手

調査項目

(1) マレーシア諸都市における華僑社会の実体

(2) 台湾・香港・マカオにおける関係文献の事情

(3) 南ベトナム・タイ・インドネシアにおける華僑とマレーシアのそれとの比較

調査期間

約3カ月(39年12月19日～40年3月中旬)

7. 東南アジア経済における近代化要因の研究

調査参加者

鎌倉昇 京都大学経済学部助教授

調査項目

東南アジア経済における近代化要因

調査期間

約1カ月半(39年7月～8月)

8. 東南アジアにおける仏教教団の実態調査

調査参加者

藤吉慈海 京都大学人文科学研究所助手

調査項目

(1) タイ・ビルマ・カンボジャにおけるテラバーダ仏教の教団とその背景との関係

(2) これらの国の近代化と仏教との関係

調査期間

4カ月(39年11月1日～40年2月28日)

II. 自然科学部門(暫定計画)

1. タイ国における「らい」の実態にかんする調査研究

調査参加者

西占貢 京都大学医学部教授

岡田誠太郎 // 助教授

調査項目

(1) タイ国における未治療「らい」患者の実態

(2) タイ国における「らい」の病型分布

(3) その病理学的特徴

調査期間

3カ月(39年11月10日～40年2月9日)

2. タイ国の結核についての予備調査

調査参加者

寺松孝 京都大学結核研究所助教授

前川暢夫 //

調査項目

臨床医の立場から見たタイ国結核対策の実情

調査期間

1カ月半(39年12月～40年2月)

3. マレーシアおよび南タイの水田土壌にかんする調査

調査参加者

川口桂三郎 京都大学農学部教授

久馬一剛 // 助手

古川久雄 京都大学大学院農学研究科修士課程

- 調査項目  
 (1) マレーシアおよび南タイにおける土壌型相互の成因論的異同  
 (2) チッ素の肥効発現機構  
 調査期間  
 3カ月(40年1月中旬～4月)
4. 東南アジアにおける農業灌漑・排水にかんする調査  
 調査参加者  
 富士岡義一 京都大学農学部教授  
 調査項目  
 (1) タイ・カンボジャ・マラヤにおける土地・水資源の現況  
 (2) 水利開発および灌排水にかんする問題点  
 調査期間  
 2カ月(39年10月中旬～12月中旬)
5. 東南アジアにおける広域水利計画にかんする調査  
 調査参加者  
 南 勲 京都大学農学部助教授  
 調査項目  
 (1) タイにおける水利配分法および施設  
 (2) タイにおける水理学研究施設  
 (3) メナム河の水理特性  
 調査期間  
 12日(39年7月2日～7月13日)
6. タイ国北部地域における地質鉱物の研究  
 調査参加者  
 滝本 清 京都大学工学部教授  
 吉住永三郎 // //  
 鈴鹿恒茂 // 助教授  
 谷口敬一郎 // //  
 港 種雄 // 講師  
 調査項目  
 (1) チェンマイ周辺の地質構造  
 (2) 同じく鉱産物  
 調査期間  
 3カ月(39年10月上旬～12月下旬)
7. 東南アジアにおける非鉄金属資源ならびに製錬にかんする調査  
 調査参加者  
 森山徐一郎 京都大学工学部教授  
 調査項目  
 (1) タイ・マレーシア・シンガポールにおける錫鉱床  
 (2) 同じく製錬の現況  
 調査期間  
 12日(39年10月20日～10月31日)
- 東南アジア研究センター第2年度(昭和39年度)養成計画による海外留学生**
1. 福井捷朗 京都大学大学院農学研究科博士課程(植物栄養学専攻)  
 留学先 タイ国カセツェート大学  
 留学目的 (1) タイ語の修得  
 (2) 多雨熱帯の水田土壌の研究  
 留学期間 1カ年(39年5月29日～40年5月28日)
2. 小林一三 京都大学大学院農学研究科博士課程(農林経済学専攻)  
 留学先 米国コーネル大学  
 留学目的 (1) インドネシア語の修得  
 (2) 農業発展理論の研究  
 留学期間 1カ年(39年6月25日～40年6月24日)
3. 前田成文 京都大学大学院文学研究科修士課程(社会学専攻)  
 留学先 マレーシア連邦マラヤ大学  
 留学目的 (1) マライ語の修得  
 (2) マラヤの社会構造の研究  
 留学期間 1カ年(39年5月12日～40年5月11日)
4. 桂満希郎 京都大学大学院文学研究科博士課程(言語学専攻)  
 留学先 タイ国チュラロンコーン大学  
 留学目的 (1) タイ語の修得  
 (2) タイ語諸方言および未調査言語の記述  
 (3) 文献資料の収集  
 留学期間 1カ年(39年6月20日～40年6月19日)
5. 酒井敏明 京都大学大学院文学研究科博士課程(人文地理学専攻)  
 留学先 米国エール大学  
 留学目的 (1) 東南アジアの地理学的研究の基礎訓練  
 (2) 資料の収集  
 留学期間 1カ年(39年8月～40年7月)

研究例会記事

(昭和39年4月から6月まで)

年月日	講演者	題名
39. 4. 14	Gen. Netr Khemayodhin および Dr. Nibondh Sasidhorn (National Research Council, Thailand)	「座談会」
39. 4. 30	岩村 忍 (センター所長)	「アメリカにおけるアジア研究」
	本岡 武 (京大・農・助教授)	「インドネシア・マレーシア調査研究計画打診報告」
39. 5. 23	Dr. Robert B. Jones (Cornell Univ.)	「タイ語・ビルマ語の学習について」
39. 6. 17	浅山 亮二 (京大・医・教授)	「眼科学を通じて見たタイ国内事情」
	川口 桂三郎 (京大・農・教授)	「東南アジアにおける水田土壌調査」

国外からの訪問者

(昭和39年2月から6月まで)

2月20日	Dr. Frank M. LeBar, Director of Research, Human Relations Area Files
2月20日～3月6日	Mrs. Dorothy Murphy, File Supervisor, Human Relations Area Files
4月5日	Prof. Herbert Passin, Consultant of International Affairs Program, Ford Foundation
4月13日～19日	Gen. Netr Khemayodhin, Secretary General of National Research Council, Thailand
	Dr. Nibondh Sasidhorn, Chief of Social Science Research Division, National Research Council, Thailand
5月16日	Mr. Prakoso Susilo, Acting Representative of FAO Regional Office, Bangkok
5月20日～25日	Dr. Robert B. Jones, Associate Professor of Cornell University
5月26日	Mr. John Bresnann, Assistant Representative of the Ford Foundation Office in Djakarta
6月9日	Dr. Prakorb Juchida, Director of Virus Research Institute, Bangkok
6月17日	Dr. G. Bowles, Professor of Syracuse University

関係者往来

(昭和39年2月から6月20日まで)

	出発	帰国	行先
岩村 忍 (京大・東南ア研・所長)	39. 3. 10	39. 4. 10	米 国
飯島 茂 (京大・農・助手)	39. 4. 1		タ イ
本岡 武 (京大・農・助教授)		39. 4. 9	タ イ
古川 久雄 (京大・農・大学院)		39. 4. 10	タ イ
水野 浩一 (京大・東南ア研・研究員)	39. 5. 11		タ イ
矢野 暢 (京大・法・大学院)	39. 5. 11		タ イ
前田 成文 (京大・文・大学院)	39. 5. 12		マレーシア
福井 捷朗 (京大・農・大学院)	39. 5. 29		タ イ
渡部 忠世 (京都府大・助教授)		39. 5. 31	タ イ
相良 惟一 (京大・教育・教授)	39. 6. 1		タ イ
棚瀬 襄爾 (京大・文・助教授)	39. 6. 1		マレーシア
吉田 光邦 (京大・人文・助教授)	39. 6. 1		マレーシア
桂 満希郎 (京大・文・大学院)	39. 6. 20		タ イ
小林 一三 (京大・農・大学院)	39. 6. 20		米 国